

木越勉著「まいにちスペイン語、NHK ラジオ、テキスト、応用編 2012年5月号」

NHK 出版 2012年4月18日刊を読む

スペイン語の上達に何が一番有効ですか 音読です

(1)「スペイン語の上達には何がいちばん有効ですか？」とよく聞かれますが、「“音読”です」と私は答えます。この場合の“音読”とは、意味のあるまとまった文章を何度も繰り返し声に出して読むことです。まとまった文章をインプットすることによって、頭にスペイン語のデータベースを蓄積し、必要なときにそれをアウトプットできるからです。また、自然な文章の流れを身につけられるのも重要なことだと思います。

(2)この講座の後半の「日本紹介モノログ」は、まさに“音読”にうってつけです。スペイン語の文ができたなら、すみずみまで意味がよく分かっているモノログを、暗唱できるまで何度も声に出して読んでみてください。最初はアルベルトさんの後について読み、その後は通して読んでいるモデルリーディングに合わせて読むようにしてみてください。番組を録音したり、CD や番組のストーリーミングの活用もお勧めです。

P88

[コメント]

音読とは、意味のあるまとまった文章を繰り返して読むこと。まとまった文章をインプットすることにより、頭にスペイン語のデータベースを蓄積し、必要なときにアウトプットできる。自然な文章の流れを身につけられる。音読の効用をよく表して下さり、有難い。

- 2012年5月9日 林 明夫記 -